

令和8年度



園だより 5月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 ○もりもりそだつ げんきなからだ ○たいせつな なかまとじぶん ○かんじる こころとあたま

『 柳緑花紅 -やなぎはみどり はなはくれない』

園長 原 麻弓

進級、入園から約ひと月が経ちました。

お子様の、そして保護者の皆様の新しい生活はいかがでしょう？

子供園には4月に68名の子どもたちが揃い、毎日元気な声が園内や園庭に響き渡っています。

登園時にはおうちの人と離れがたくて涙が出る子も、担任の先生の顔を見ると少しほっとして、徐々に自分の遊びを見付けて楽しみ始めています。

進級や入園を経て張り切って頑張っていた子は、これから疲れが出てくるかもしれません。

子供園では、そのままの姿を温かく受けて止めてまいります。子どもたちの様子を丁寧に読み取りながら、「頑張れ！」と「大丈夫だよ。」のバランスを取って支えていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、お子様の進級や入園を機に、他のお子様の姿も目に入ることが増え、つい、「あの子に比べて、うちの子は…」と考えてしまうこともあると思います。心配になってしまうこともありますよね。

比べてしまう気持ちはぐっところえ、目の前のお子様の、昨日と違う小さな育ちに目を向けていきましょう。

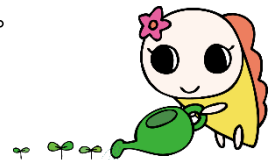
職員室では「あの子は涙が出ている時間が短くなってきたね。」「今日は自分で着替えを進めていたんですよ。」など、その子一人ひとりの育ちを見て、共有しています。

一人ひとり、育ちのペースも育ち方もそれぞれです。焦らずに、信じて待つことも、子どもたちを取り巻く大人に必要な姿勢です。

私の通勤途中にある寺院には毎月、様々な言葉が入り口に示されています。4月は「柳緑花紅」でした。

～木々の緑、花々の紅はそれぞれの色を放っているからこそ、春は美しい～

共に育ち合いながら、個性を輝かせていく、まさに子供園の子どもたちのことだなあと感じています。



ゆっくりと子どもたちの育ちを感じ、子供園と保護者の皆様とでその喜びを共有しながら、しあわせいっぱいの子供園をつくっていきましょう。



【5月の保育】

年少うさぎ組

子供園での生活に徐々に慣れ、支度が終わると自分の好きな遊びにすぐに取り組んだり、「せんせい！」と笑顔で話してくれたりする姿が増えました。園庭探検などをして、子供園の自然にもたくさん触れながら戸外で遊ぶことも楽しんでいきます。

今月は、好きな遊びを見付けて繰り返し楽しんだり、保育者と触れ合いながら体を動かすことの楽しさを感じたりすることができるようになっています。

生活面では、靴の脱ぎ履きや着替えなど、身の回りのことを自分でやってみようとする気持ちをもてるようにしていきます。個々のペースに合わせながら、「自分でできて嬉しい」という経験が積み重ねていきます。

年長ぞう組

新しい保育室、遊具など、“憧れの年長組”の生活を張り切って進めてきました。色水遊びで自然物や水に触れたり、みんなで体を思い切り動かしたりすることを楽しんでいます。

今月は、友達と遊びや生活を進めていく中で、自分の思いや考えを出そうとする姿を認めながら、相手の気持ちにも気付けるように、丁寧に支えていきます。

遠足では、みんなで動物をよく観察したり、乗り物に乗ったりすることを楽しみます。遠足という共通体験が、子どもたちの遊びのきっかけになり、再現して遊ぶ楽しさが感じられるようにしていきます。

年中くま組

自分がやりたい遊びを見付けて楽しむ姿がだんだん増えてきました。4月に引き続き、安心して楽しく遊ぶことを大切に、「自分のやりたいことができる」「やってみたら楽しかった」という気持ちが積み重なるようにしていきます。

体を動かすのに心地よい季節です。体操をしたり、かけっこをしたりする時間も大切にします。ドキドキしていた子も、見ているうちに「なんだか楽しそう！」と近付いてきて、少しだけやってみたりする姿が徐々に増えています。新しいルールのある遊びも取り入れながら、みんなで一緒に遊ぶ楽しい雰囲気を味わえるようにします。

